

2020年10月22日

軽量化技術に関するグローバルプロジェクトに参画

帝人グループは、ドイツ・アーヘン工科大学の関連組織であるAZLアーヘンGmbH主催による、自動車などの軽量化に寄与する技術開発のための産学共同のオープンイノベーションプログラム「AZLパートナーネットワーク」に参画することとしました。

「AZLパートナーネットワーク」には、現在、各国から約90機関が加盟しており、熱硬化性・熱可塑性複合成形材料などの高機能材料のエキスパートが集結しています。その中で帝人グループは、当ネットワークが10月22日に開始する、電気自動車（EV）用のバッテリーボックスの開発・製造に向けた8か月間のプロジェクトなどに参画します。

近未来のモビリティ像として「CASE」が示され、環境負荷低減を目的とした自動車の電動化が進む中、軽量化や多機能化など、自動車を取り巻く環境には大きな変化が予測されています。

当社は、こうした変化に対応するため、2017年に米国のContinental Structural Plastics社（以下「CSP社」）を買収し、以来、グローバルTier1サプライヤーとして自動車向け複合成形材料事業を展開しています。また、CSP社のフランス現地法人であるCSPヨーロッパでのSMC(*)工場新設、ポルトガルのInapal Plasticos社（イナパル社）やチェコのBenet Automotive社（ベネット社）の買収など、複合成形材料事業の拡大を推進しており、昨年には、衝突規制に適合しながら、従来のスチールドアに比べて全体の重量を削減したマルチマテリアルドアモジュールを開発しました。さらに本年2月には、ドイツに次世代自動車開発に向けた市場開拓および技術調査を担うテイジン・オートモーティブ・センター・ヨーロッパ（TACE）を設立し、長年にわたり培ってきた炭素繊維やアラミドなどの高機能素材に関する技術や知見に基づき、新たなアイデアを活用したマルチマテリアルでの提案力強化を図っています。

(*) SMC：Sheet Molding Compoundの略。熱硬化性樹脂をガラス繊維に含浸させシート状にした成形材料。

当社は、「AZLパートナーネットワーク」の目的が、目指す方向性に合致していることから、このたびプロジェクトに参画することとしました。帝人グループはマルチマテリアルでの部品供給メーカーとして、その地位を一層強固なものにしていきます。

以 上

【 当件に関するお問合せ先 】

帝人株式会社 コーポレートコミュニケーション部 TEL:(03)3506-4055